



Subaru

昇 男声合唱団

ニュース No.257

'10. 08. 14

「無言館」(男声合唱版)を レッスン・・・8月6日(金)・・・

□8月6日(金)は、高田さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングに始まり、本並先生の指揮、今日は静さんに代わって森先生のピアノで「落葉松」、「無言館」と「ねがい」をレッスンしました。団員出席は28名。

□レッスン一口メモ

▼「落葉松」の音合わせをしました。

▼「無言館」(第一章、男声合唱版)を檀先生に編曲して頂きました(本日配布)。楽譜をみながらでも歌えれば、長崎で昇だけでくオリジナルコンサート>に出ることも可能になります。また今後の、昇独自の持ち歌に加えることが出来ます。他の章も男声合唱版に編曲していただくよう檀先生にお願いしました。

▼1曲だけ歌うなら最終章より第一章のほうが「あと五分あと十分」の無言館に入ってすぐ目に入る有名な文言があり、「もっともっと生きたかった」との訴えが分かり易い。

▼「無言館」のパート別の音源は各団員にメール済。

また、CDは当日配布しました。

▼「無言館」楽譜の訂正など

①P2 中段の「だれかしら(㊦)(㊧)(㊨)」BRはT1と同じメロディーで。(FFF→GGGに訂正)

②P2 中段から下段にかけての「とおくのこ(㊩)」(㊪)の全音符はT2が上(C) T1が下(A♭)。

③P2 最後の「わかいこ(㊫)」の(㊬)を追加。(全音符F)

▼「無言館」のT2は混声のTと、BSは混声のBSとほとんど同じなので問題なく歌えると思います。T1は混声のソプラノ、BRはアルトを元にしています。新たに覚えなければなりません、頑張ってください。

▼「無言館」を昇+混声で歌う場合は昇の男声合唱版に女声を重ねて歌っていただきます。(そのほうがバランスがよい、9月5日の「創作発表会」(グリーン会館)も第一章はこのバージョンで行きます。)

▼「ねがい」を通して一回歌いました。



「ドーンと鳴ったら花火のしぼむ時」

西島さんの写真あそび(文・句とま)
8月7日淀川花火がありました。自宅からほど近い毛馬閘門あたりから。



強力な助っ人の森三先生と、BRのパートレッスンはピアノを森先生にお願いすることになって安心の笑顔になった、新パートリーダーの橋本さん。